

看護技術スキルアップ研修

医療安全にかかわる看護技術

静脈注射の 学び直しプログラム



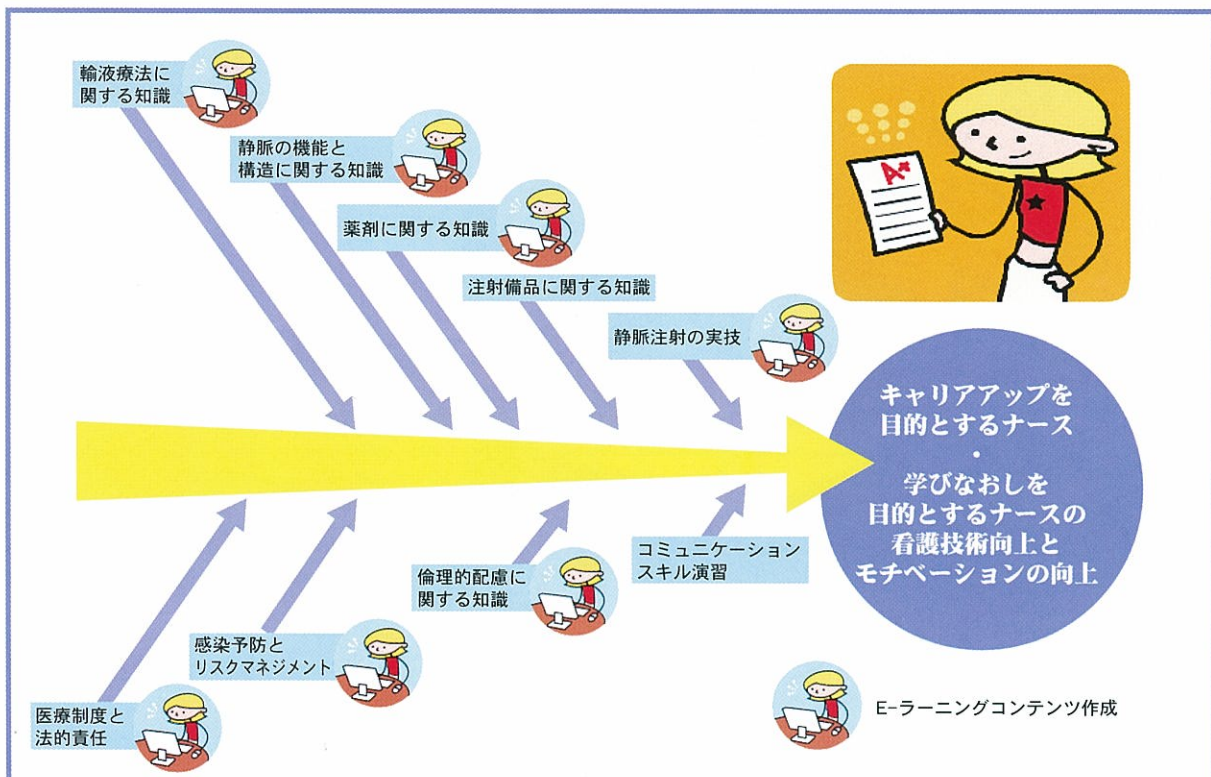
目的

現職の看護職の皆さんの看護技術のレベルの向上や、職場復帰を考えている看護職の皆さんが一定水準の看護技術を習得することで、再就職へのモチベーション向上につながることを目的とします。

なぜ静脈注射なのか

「静脈注射」は看護職であるかぎり多くの場面で遭遇する看護技術です。これまで「静脈注射は本来看護師の業務の範囲外であると国の通知に示されていましたが、医師が多忙であることを理由に看護師が実施している現状がありました。2002年には厚生労働省医政局通知により「看護師等による静脈注射の実施は診療行為の範疇である」と通達され、「静脈注射」は看護業務として認知されました。このことを受けて、各医療施設では静脈注射に関する研修が始まっていると思いますが、静脈注射は単なる手技にとどまらず、患者さんの安全を考慮するための知識・技術・態度に裏付けされていなければなりません。

この学びなおし研修では、最先端の看護技術とともに薬剤の知識やインフォームドコンセントに関するコミュニケーションスキルなどを総合的に学ぶようにプログラムを工夫しました。患者さんが安心して医療を受けられるよう、看護技術の向上に役立てば幸いです。



プログラム

科目	内容と目的	形式
1. 静脈注射の実技 注射備品に関する 基礎知識	静脈注射の技術を、指示の受け方・患者のアセスメント・方法の選択―実施と観察―評価のプロセスを通して実施できるように、実技を通して学ぶ。	実習 腕モデル使用 受講生相互体験
2. 医療制度と法的責任	保健医療福祉に関する制度や法律の変化と看護師の役割の拡大について理解する。	講義
3. 静脈の機能と構造	静脈注射に必要な解剖生理の基礎知識を学び、体液のしくみと働きを知るとともに、薬剤投与に適切な静脈を選択できるようにする。	講義
4. コミュニケーション スキル	患者や医療従事者との信頼関係の構築のための”説明と同意”について学ぶ。	講義
5. 感染予防と リスクマネジメント	静脈注射における感染制御の知識と方法を得る。また、静脈注射に伴う医療事故例からリスク管理について学ぶ。	講義
6. 薬剤の知識	各種薬剤別の薬理作用や投与時の注意について理解する。ミスがあった場合の対応について学ぶ。	講義
7. 倫理的配慮に関する知識	患者の生命と人権擁護に関する倫理的問題について理解し、医療技術を適用する際の行動と態度について学ぶ。	講義

研修会日程

会場／青森県立保健大学内

	日程	対象
第1回	平成21年7月2日（木）・3日（金） 平成21年7月10日（金）・11日（土）	潜在看護職者 30名
第2回	平成21年9月10日（木）・11日（金） 平成21年9月17日（木）・18日（金）	現職看護職者 30名

文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」とは、
大学、短期大学、高等専門学校における教育研究資源を活用した、
社会人の再就職やキャリアアップ等に資する優れた実践的教育への取組を
推進するための事業です。

受講について

受講条件

- ◆看護師、准看護師の免許をお持ちの方
- ◆年齢制限なし
- ◆各コースとも4日間すべて受講可能な方
- ◆コース対象
 - 第1回 潜在看護職者
 - 第2回 現職看護職者
- ◆次のことに同意していただける方
研修中はe-ラーニングコンテンツ作成、広報等の
目的で写真・ビデオ撮影をすることがあります。
研修事業を評価する目的で修了試験等のデータを
活用させていただきます。

受講料 無料

申込方法

添付の申込用紙に必要事項を記載の上、郵送で
お申し込み下さい。受講決定者へは、各自ご連絡
させていただきます。

申込期間

第1回 潜在 平成21年6月1日～6月7日
第2回 現職 平成21年8月3日～8月9日

その他

原則として応募の先着順にお受けいたしますが
応募者多数の場合は、同施設では2～3名に限ら
せていただくことがありますのでご了承願います。

学び直し研修で、多くの受講生から自己啓発への声が聞かれています

基礎から実践まで
学び直しの必要性を実感！

学び直して
自己の知識・技術を再確認！

- 安全な医療提供のために
- 現場復帰に向け再就職を考えている方に
- 自己のキャリアアップに

お問い合わせ

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬58-1
青森県立保健大学地域連携・国際センター〈学び直しプログラム〉事務局
担当教員 奈良岡
TEL. 017-765-4085 FAX. 017-765-2021
E-MAIL manabinaoshi@auhw.ac.jp
URL <http://www.auhw.ac.jp>